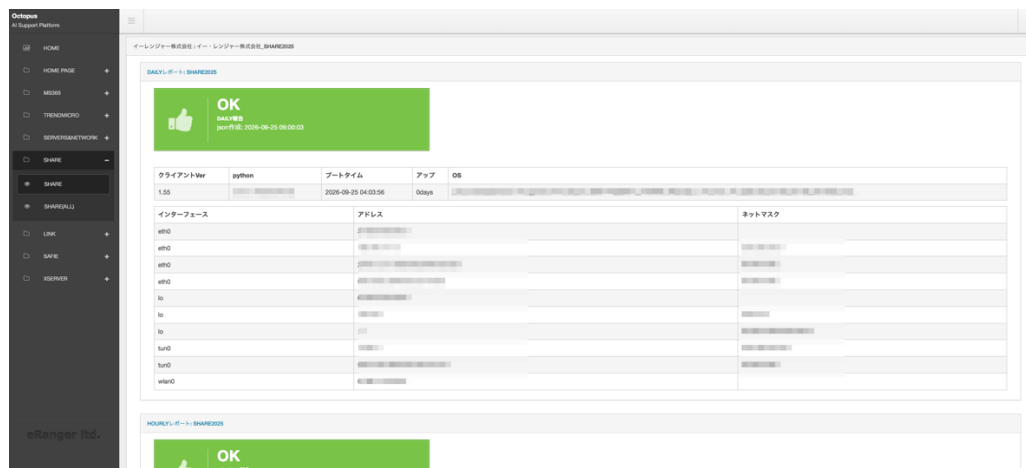




■ Claude Cowork で Octopus を効率化する

以前のかわら版にも掲載しましたが、ここ 1 年ほど（それ以上？）の間に、コード類（監視系プログラムやサーバーソフト）の**開発の 99.5%は Claude Code に移行**してしまいました。**開発速度は 100 倍位になったと**感じますし、**コード品質（保守性、セキュリティ）も格段に改善された**と思います。

今回は弊社の統合監視システム：**オクトパス（Octopus）**を **Claude Cowork で効率化**する取り組みを紹介します。



図：オクトパスの画面

オクトパスはお客様のご契約になっているクラウドシステム（MS365, AWS）や、弊社が管理させていただいているホームページ、セキュリティやネットワークなどなどの状態を「**あれやこれやとデータを取得して**」監視するプラットフォームです。

上はその画面の 1 つですが、これらを「**目視で**」確認するのがルーチンになっています。

そこで、オクトパスの取得した監視データとそれらの閾値を Claude Cowork に食わせて、**注目度の高い情報や継続している問題、変化点などを要約させよう**と企てました。



図：オクトパスの情報を Cowork でサマリーした画面

上は仮運用中の画面です。Cowork の良さはたくさんあって、ここでは書ききれませんが、デメリットがあるとすれば、**外部システム（メールや AWS などのクラウド）との連携に弱い**ということだと思います。これは、AI が「外部システムに悪さをしないように」という配慮と推測します。